

薬剤師外来 いきいき脳活性お薬相談

アリセプトを正しく服薬  
していただくために

～レビー小体型認知症～



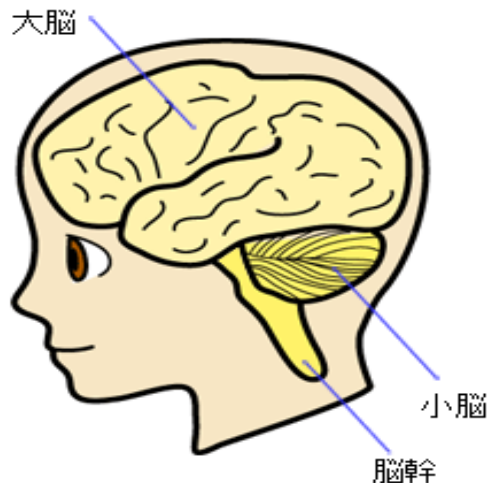
# 目次

1. レビー小体型認知症とは？
2. レビー小体型認知症とアルツハイマー型認知症の主な違い
3. レビー小体型認知症の症状の特徴
4. レビー小体型認知症の治療
5. アリセプトについて
  - ①作用
  - ②服用方法
  - ③注意事項
  - ④副作用
6. 介護の心がけ
7. 暮らしのヒント

# 1. レビー小体型認知症とは？

◇この病気は、日本で発見された疾患で、  
Dementia with Lewy bodiesといい、略してDLBと呼ばれています。

◇アルツハイマー型認知症、血管性認知症とともに  
“三大認知症”といわれ、決して、めずらしい疾患ではありません。



◇“レビー小体”とは、異常なたんぱく質が脳の神経細胞内にたまったもので、主に“脳幹”に現れるとパーキンソン病になり、さらに認知機能を司る“大脳皮質”にまで広くおよぶと、レビー小体型認知症(DLB)になります。

## 2. レビー小体型認知症とアルツハイマー型認知症の主な違い

### レビー小体型認知症

主に視覚認知障害に基づく障害

多い

幻視に基づく妄想

少ない

あり

レム睡眠行動障害に伴う睡眠障害

多い

### アルツハイマー型 認知症

主に記憶障害に基づく障害

少ない

物盗られ妄想など

多い

なし

単純な睡眠障害

まれ

生活障害

幻視

妄想

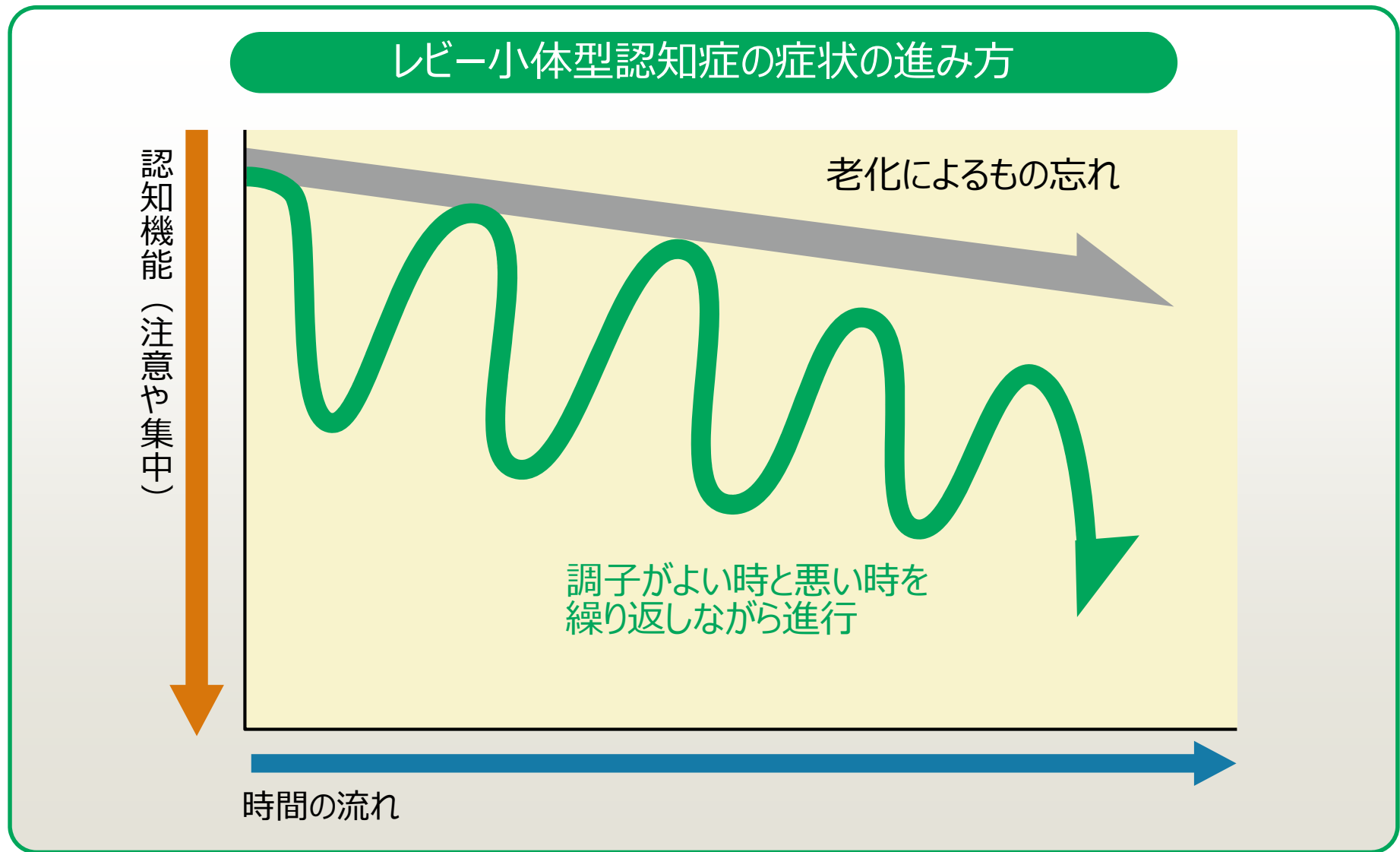
徘徊

認知機能  
の変動

睡眠障害

パーキンソン  
症状

### 3. レビー小体型認知症の症状の特徴



時間帯や日によって認知機能に変動があります。しかし、次第に認知機能は低下します。

### 3. レビー小体型認知症の症状の特徴

レビー小体型認知症は、病初期から中期にかけては、記憶障害はあまり目立たず、認知機能の変動・幻視・パーキンソン症状・レム睡眠行動障害・抑うつ・自律神経症状・失神など、特徴的な症状がさまざまに出現します。

#### 認知機能障害

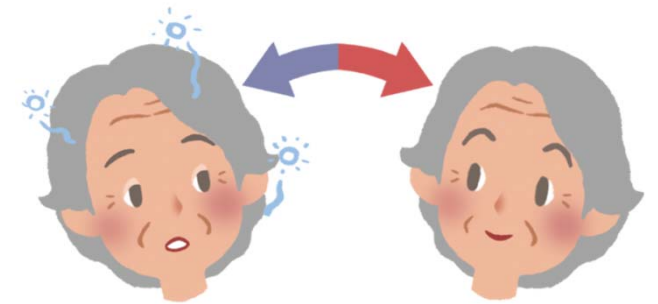
- ・注意力がなくなる、
- ・ものがゆがんで見えるなどの症状が現れます。



#### 認知機能の変動

- ・日や時間によって、頭がはっきりしている状態とボーっとしている状態が入れ替わるといった、症状に波があるのが特徴です。

例：いつもできることができない。時々家族を間違える。



# 3. レビー小体型認知症の症状の特徴

## BPSD (行動・心理症状)

### 幻視

- ・発症初期からみられます。  
実際に存在しないものが、本人にはありありと見える症状です。  
例：猫が部屋の隅にいる。知らない人がいつも2階から覗いている。  
あたりが一面の花畑になっている。
- ※“～がいた”ではなく、“～がいる”というのが特徴です。



他に錯視 (いわゆる「見間違い」) などが見られることもあります。  
例：ゴミが虫に見える。丸めてあるシーツを動物と勘違いする。壁の模様が人の顔に見える。

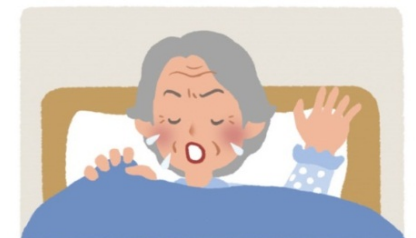
### 抑うつ症状

- ・発症初期に現れやすいです。  
気分が沈み悲観的になり、意欲が低下する症状が見られます。



### レム睡眠行動障害

- ・普通の寝言とは違い、睡眠中に大声で怒鳴ったり、叫んだり、暴れたりすることがあります。



# 3. レビー小体型認知症の症状の特徴

## 身体面の症状

### パーキンソン症状

- ・手足が震える、四肢が硬くなる、動作が遅くなる、
- ・歩行障害、表情が乏しくなる、体が斜めに傾く、
- ・嚥下障害などの症状がみられます。



### 自律神経症状

- ・起立性低血圧（立ちくらみ）、体温調節障害、便秘、多汗、頻尿/  
などの症状が見られます。



### 嚥下障害

- ・症状が進行すると飲み込む機能が衰えて、唾液や食べ物が気管に入ってしまうことがあります（誤嚥）。
- むせて吐き出せるとよいのですが、吐き出せないと、唾液や食べ物に含まれた細菌により肺炎を起こしやすくなります。





## 4. レビー小体型認知症の治療

一般にレビー小体型認知症の治療には、

- ・認知機能障害に対する薬
- ・幻覚や妄想などの精神症状に対する薬
- ・パーキンソン症状に対する薬

の3つが必要に応じて用いられています。

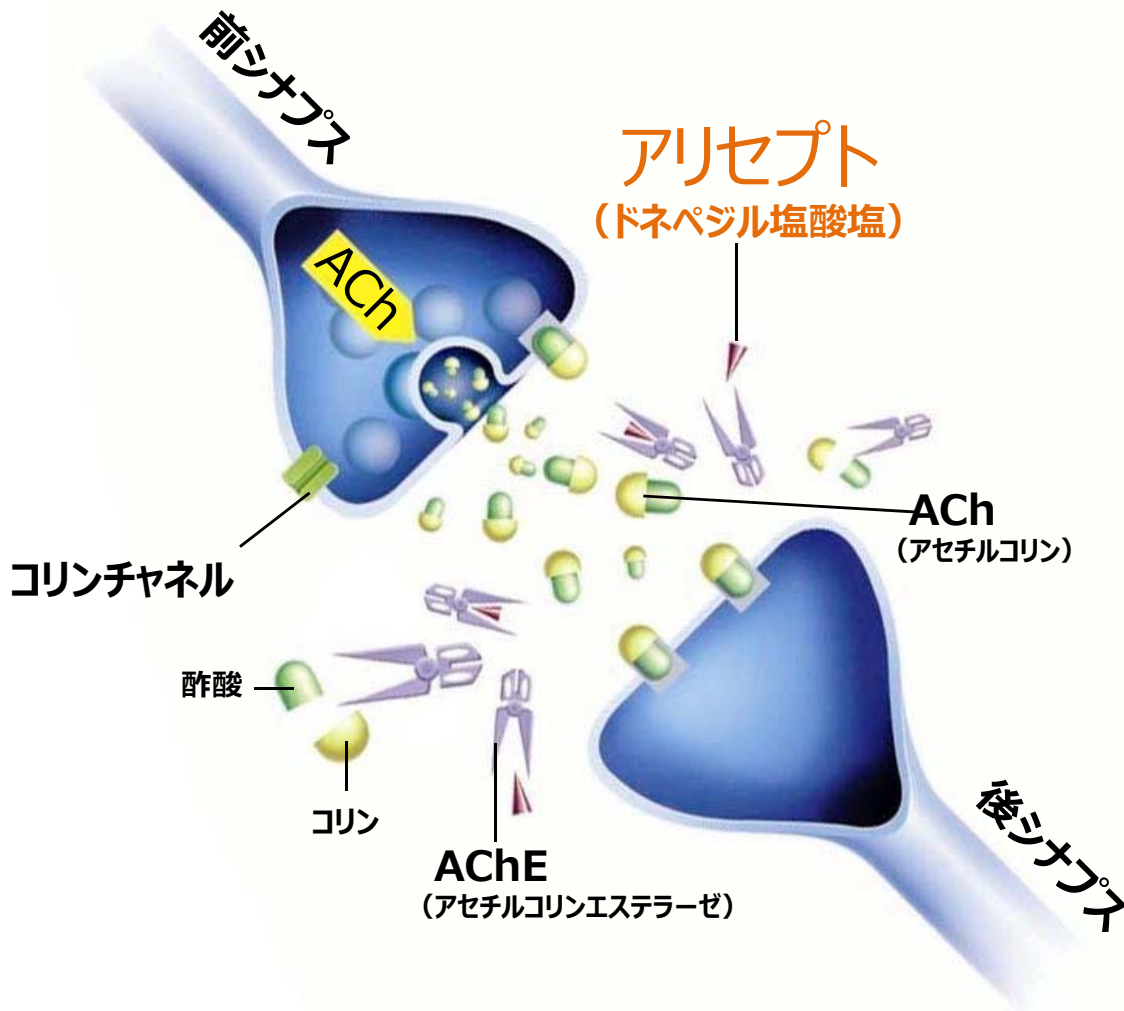
アリセプトによって  
症状の進行を遅らせる



# 5. アリセプトについて

## ①作用

### ■ アリセプト投与時の神経伝達

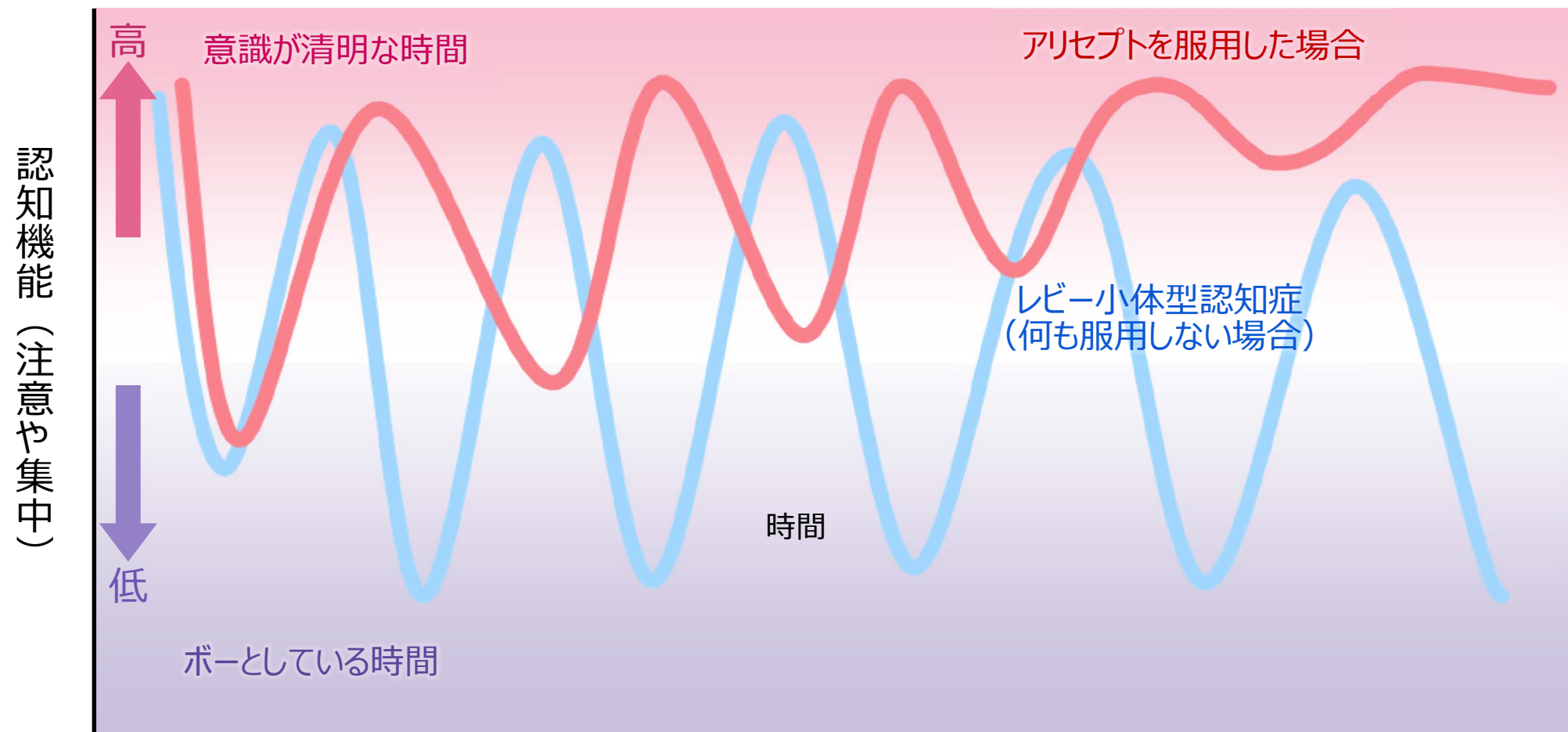


● 脳内のアセチルコリンの分解を抑制しアセチルコリンの濃度を高めて神経の伝わりを良くする作用があります。

● レビー小体型認知症の症状の進行を抑えるお薬です。レビー小体型認知症そのものを治す効果はありません。

# 5. アリセプトについて

## ①作用



注意や集中の変動周期は、数分から数時間、時に数カ月に及びます

**レビー小体型認知症の認知機能障害に特徴的な“注意力の低下”を改善し、注意力や覚醒の変動等を少なくするといわれています。**

## 5. アリセプトについて

### ②服用方法

主治医の指示に従って、決められた量を服用してください。

アリセプト  
D錠3mg



最初の1～2週間は3mgを服用します。（1日1回）

- 1) 3mgは最初の1～2週間は、お薬を体に慣らすために服用します。
- 2) 軽い吐き気や食欲不振がでたり、便が軟らかくなる、少し活発になることがあるかも知れません。そのようなときは、ご連絡ください。（多くの場合は自然に消えていきます。）

アリセプト  
D錠5mg



その後、5mgを服用します。（1日1回）

- 1) このお薬は、認知症の症状の進行を抑えるものです。そのため、症状に変化がないことも、お薬の効果になります。服用を途中でやめないよう注意してください。
- 2) 服用している間に、いつもと違う症状がでる場合には別のお薬が追加されることもあります。早めに主治医にご相談ください。

アリセプト  
D錠10mg



5mgを4週間以上継続した後に10mgに増量します。（1日1回）

- 1) お薬を増やして早い時期に、吐き気や食欲不振がでたり、便が軟らかくなることもあるかも知れません。そのようなときはご連絡ください。
- 2) 活動性があがる、興奮するなどが見られることがありますが、必ずしもこのお薬によるものとは限らないので、対処法や服用中止の判断などについて主治医にまずご相談ください。
- 3) パーキンソン症状が悪くなった場合には、早めに主治医にご相談ください。

# 5. アリセプトについて

## ②服用方法

お薬が飲みにくい場合、D錠に加え、ドライシロップやゼリー剤も選択いただけます。

### 剤形による注意事項

#### D錠

- 口の中で崩れます。少量の水で飲み込んでください。
- お薬の性質上表面が少しザラついていることがあります。



#### ドライシロップ

- 服用いただく直前に水に溶かしてください。
- 粉のまま水とともに服用いただくこともできます。
- 白い粉がみられることがありますが、そのまま服用いただけます。



#### ゼリー剤

- スプーン等で服用しやすい大きさにすくって服用してください。
- アルミ袋またはカップ、脱酸素剤ごと口に入れないようご注意ください。
- ゼリー表面に水分や多少のでこぼこ、気泡がみられることがありますが、そのまま服用いただけます。
- 服用し残したゼリー剤は衛生面で問題がありますので、服用しないでください。



飲み忘れても2日分を一度に飲まないで下さい

1日飲み忘れても効果に影響はありません。  
次の日からきちんと1錠を飲むようにしてください。

自己判断で勝手に中止しないでください

治療を中止すると何も治療しない場合と同じ状態まで  
症状が進んでしまうことがあります。

いつもと違う症状が続く場合は、ご相談ください。

軽い吐き気や食欲不振、便が軟らかくなることがあります。  
パーキンソン症状が悪くなるなど何か症状などが出た場合は、  
すぐに医師、薬剤師に相談してください

## 5. アリセプトについて

### ④副作用

飲み始めの時、軽い吐き気や  
便が軟らかくなることがあります。



特にアリセプト3mg服用開始時と  
10mg服用開始時の早い時期に  
起こることがあるかもしれません。多く  
の場合、症状は1週間程度で消え  
ていきます。

パーキンソン症状が悪化する症状は  
認知症によるものかもしれませんし、  
薬の副作用かもしれません。



体の動きが悪くなったり、いつもと  
違う症状がでる場合には別の  
お薬が追加されることもあります。

上記の症状の際には主治医・薬剤師に相談してください

## 6. 介護のポイント

### 幻視を否定しない

幻視は否定せず、それがどんなものか十分に話を聞きましょう。  
安心できる声かけや対応が、本人の落ち着きにつながります。

### 症状の変動を把握する

しっかりしている時と、別人のようにボーっとしている時があるので、今どちらの状態にあるのかを十分に把握しておくことが大切です。状態の悪い時は、あまり働きかけ（移動・会話など）をせず、見守るようにしましょう。

### 転倒を防止する

ちょっとした物につまずき転倒しやすくなるので、立ち上がる時や、入浴後、排便後などは特に気をつけましょう。階段の上り下りの際には、手すりを利用し、見守りや声かけを心がけ、転倒防止に努めましょう。

### レム睡眠行動障害に対応する

睡眠中に大声で怒鳴ったり、怖がったり、暴れたりする時は、電気をつけて部屋を明るくするなどして目が覚めるように働きかけが大切です。体をゆすって急に起こさないように気をつけましょう。

### 身体状態に気を配る

誤嚥予防のために、食事時の見守りや食べやすい調理の工夫、食事に集中できる環境づくりに配慮しましょう。  
水分補給、適度な運動や食物繊維の摂取など、便秘予防に努めましょう。



## 6. 介護のポイント

### お薬の過敏性に注意しましょう

レビー小体型認知症の人は、お薬に敏感に反応することが知られており、さまざまな副作用があらわれたり、通常の服薬量でもお薬が効き過ぎたり、症状が悪化したりすることがあります。市販の風邪薬や胃腸薬で具合が悪くなることもあります。



！レビー小体型認知症では、抗精神病薬で症状が悪くなる場合があります。とくに高齢者では少なめに服薬しても、過敏に反応してしまうため副作用があらわれることがあります。

※アリセプトでは、過敏性は認められておりませんが、他の頭に働く薬は効きすぎる場合があります。服薬に際しては、十分な注意が必要です。

# 7. 暮らしのヒント



生活で気をつけることは？



## 幻視

- 壁に洋服をかけない
- 1か所だけに目立つ色の物を置かない
- 部屋や廊下の明るさを調整する
- 目のつくところに洗濯物を干さない

## 症状の変動

- 適度な運動と規則正しい生活
- 状態の良い時に、歩行訓練や軽い体操、訪問リハビリを利用するなど

## 転倒防止

- 滑りやすい物やつまずきやすい物を床に置かない  
例：玄関マットをはずす、コード類は壁際に固定するなど
- 新聞や雑誌など、こまごました日用品も床に置かない
- 水でぬれた場所はすぐにふき取る



## レム睡眠 行動障害

- ベッド柵を取り付ける（カバー、クッションなどをつける）
- 日中に活動できる環境を整える  
例：長時間の昼寝を避ける、趣味や熱中できるものを見つける、他者との交流を図る機会を作る、デイサービスの利用など

# レビー小体型認知症チェックリスト

- 物忘れがある
  - 頭がはっきりしている時と、そうでない時の差が激しい。  
よくボーっとしている時が多い。
  - 実際にはないものが見える。（幻視；人や動物、虫など）
  - 妄想が見られる。
  - 動作が緩慢になった。
  - 筋肉がこわばる。硬くなる。表情が乏しくなった。  
喜怒哀楽が減った。
  - すり足、小股で歩行する。
  - 睡眠時に、怖い夢をよく見たり、大声をたてたり、あるいは  
寝ぼけて起きだし、異常行動をとる。
  - 転倒や失神を繰り返す。
- ※ 5個以上該当すれば、レビー小体型認知症の可能性あり。